

けち えん かん じょう 結縁灌頂入壇のおすすめ

【結縁灌頂】

弘法大師は、はるばる海を越え遠く唐の都長安において真言密教を学び、金剛・胎蔵（こんごう・たいぞう）の両部灌頂に入壇されました。真言密教の秘法を授かる上で最も重要な儀式が「灌頂」（かんじょう）であり、わが国においても弘法大師の帰朝後、幾度となく開かれてきました。

灌頂の中でも、このたび行われる「結縁灌頂」は、出家在家を問わずどなたでも受けることができます。さまざまな儀式によって構成され、中でもクライマックスは「投花得仏」（とうけとくぶつ）といって、目を覆われた受者（＝灌頂を受ける人）が、真言をお唱えしながら曼荼羅に花を投じ、落ちたところの仏さまと縁を結びます。さらに大日如来の智慧の水が頭頂にそそがれることによって、最もすぐれた仏縁が結ばれ、一切の罪を滅ぼすことができると経典に説かれています。

灌頂が行われる石山寺の「光堂」（こうどう）は、この平成20年に落慶。東レ株式会社の寄進により、古来の伝統的建築技法のままに建立された新しくて格式の高いお堂です。

まさに数多くの勝縁を得て行われる、この記念すべき結縁灌頂に、皆様も是非ご参加ください。

【種智院大学】

弘法大師は、天長5年（828）世界最古の庶民のための民間教育機関「綜芸種智院」（しゅげいしゅちいん）を創設されました。その建学の精神を受け継ぎ、明治14年（1881）に雲照律師によって東寺境内に設立された「総鬘」（そうこう）が本学のはじまりで、すでに創立125周年を迎えています。

現在、仏教学科と社会福祉学科の2学科で構成されていますが、今回は学科を超えて、弘法大師のみ教えを受け継ぎ、そこに学んだ者たちと、教職員、学生たちが協力して結縁灌頂を厳修します。

なお、会場となる石山寺の座主猊下は、かつて本学に学ばれ、同窓会長にご就任いただいています。

～お参りの心得～

- ①受付時間内に石山寺までお越しの上、お申し込みください。団体でのご入壇の場合は事前にお申し込みください。灌頂儀式はおよそ1時間半ほどかかります。
- ②数珠や袈裟をお持ちの方は持参してください。荷物はリュックなど背負えるもので、道場までは少し坂道がありますので歩きやすい履物でお越してください。
- ③ご不明な点は、種智院大学同窓会事務局までお尋ねください。

種智院大学ならではの
特色を活かした体験教室なども同時開催予定！

石山寺への交通

- 電車で…
京阪電車石山寺駅下車、徒歩約10分。
- バスで…
JR東海道本線石山駅より、京阪バス石山団地行き、大石行き、外畑方面行き～石山寺山門前まで約10分。
- お車で…
名神高速道路瀬田西IC又は、瀬田東IC、京滋バイパス石山ICより石山寺へ。

